

紙飛行機通信

香川大学 教職大学院 ニュースレター

16



令和3年度 教職実践研究交流会 2021年7月31日

コロナ禍のため、今年度は修了生、現院生、大学教員対象の学内限定の行事として、オンラインで開催いたしました。今回は、初めて現院生の間接発表を実施し、参加者からたくさんの質問やアドバイスをいただきました。

修了生にとっては、「頑張っている現院生の姿が、修了生にとって励みや活力になる」「現場に戻ると忘れがちな『理論と実践』感がよかった」等、修了生にとってよい刺激になったと

の声が聞かれました。また、発表者からは、「これからの方向性や視点を得ることができた」、学部卒学生からは「自分がどんな研究をしたのかを考えられた」等、それぞれの立場で学びの多い研究交流会になったようです。

今後は、参加者同士で気軽にざっくばらんな情報交換ができる時間を設けるなど、更に学びと交流が深まる有意義な研究交流会にしていきたいと思えます。（山本木ノ実）

附属学校や公立校での実習に取り組んでいます

教職大学院の各コースでは、学校現場での実習を毎週実施しています。それは、講義での学びを学校現場での実習とつなぐことで、理論と実践の往還を大切にしているからです。学部卒学生は、1年目に附属学校園での実習を、2年目には公立学校園での実習を行います。実習に参加している院生の声を紹介します。

▶ 三野 朱霞（特別支援力開発コース・1年）◀

私は毎週木曜日、香川大学教育学部附属特別支援学校中学部で実習を行っております。実習では主に授業参観させて頂き、特定の授業ではT2として授業に参加させて頂いています。また休み時間などを活用して、生徒一人ひとりと深く関わりながら、生徒理解に努めています。

先生方はお忙しい中、授業における指導方法や日常生活においての生徒との関わり方など教員に求められる多くのことを教えて下さります。週に一回という期間ですが生徒の成長を近くで見ることができ、個に応じた支援について実践的に学んでいます。

教員として生徒にどのような支援を行うべきなのかを日々講義を受け、実践として特別支援学校での実習に繋げることでより深い学びを得ています。

▶ 藤塚 拓海（授業力開発コース・2年）◀

前期の公立中学校(高松市立玉藻中学校)での実習では、2年生のクラスにて主に実習を行いました。主な実習内容として授業参観をさせて頂きました。そのほかにも、朝の会、給食、掃除、帰りの会、運動会、学活、道徳などさまざまな活動を前期実習では行いました。

前期実習の1番の学びは、生徒の様子を観察し、どのような支援をするのが良いのかを考えられたということです。生徒が学校生活や授業のなかで、何に困っているのか、何を考えているのか、何が言いたいのかを注意深く観察することで、これまでに気づかなかった生徒のつまづきを少しですが見つけられるようになりました。それに対して、教師としてどのような支援ができるのかということまで考えを持って行けるようになったように感じています。

今後の大学院説明会および入試日程のご案内

大学院説明会は、教職大学院ホームページ上にて動画等でさせていただいております(QRコードをご利用ください)。個別の質問等があればフォームを用意しておりますのでご連絡ください。入試の詳細につきましては、「学生募集要項」をご確認ください。学務係で配布しております。また、ホームページでもご案内しておりますので、あわせてご覧ください。



B 日程

出願期間：
2021年11月4日(木)
～10日(水)
学力試験日：
2021年11月27日(土)

筋ジストロフィーは、骨格筋が壊れやすく再生しにくいという症状を示す遺伝性筋疾患の総称である。デュシェンヌ型筋ジストロフィー (Duchenne Muscular Dystrophy: 以下DMD) は、その臨床類型の一つである。典型的には、幼児期より筋力の弱さがあり、転びやすい、走れないなど運動機能障害がみられるようになる。5歳頃に運動能力のピークを迎え、以後ゆるやかに症状が進行し、10歳頃には歩行困難となり、車椅子生活となる。骨格筋の機能障害は、運動能力低下以外にも側弯や呼吸機能の低下などを引き起こす (難病情報センター筋ジストロフィー: <http://www.nanbyou.or.jp/entry/4522>)。

小学校入学段階では運動障害が比較的軽度であり、知的障害や発達障害などの合併症*が軽ければ、DMD児の多くは通常の学級に在籍する。鈴木ら(2018)の調査では、小学校就学時、DMD児の60%は通常の学級に籍を置き、特別支援学校に入学した者は5%であった。このことから小学校は、DMDの「肢体不自由」という側面のみ注目するのではなく、学習障害などの危険性を考慮した支援を行う必要がある (CareCure-MD: <http://www.carecuremd.jp/>)。なお、中学入学時には歩行不能になっている場合が多く、学校内での移動の問題がよりシビアになることから、支援学級あるいは支援学校での就学が適当と判断されることが多くなる。

DMD児は、全般的知能が年齢相応より低めであり、言語性知能や言語能力で弱さを認める

報告がみられる (Marini et al., 2007; Snow et al., 2013)。さらに、継次処理あるいは言語性ワーキングメモリの弱さを指摘する研究もある (Hinton et al., 2001, 2004; Ueda et al., 2017)。

DMD児の認知特性に関する研究に比べて、学力について調べた研究は数少ない。Hintonら (Hinton et al., 2001, 2004) によれば、DMD児の学力は、年齢相応より低めであり、継次処理あるいは言語性ワーキングメモリの弱さが学力の低さに関与しているのではないかと指摘している。

DMD児については、眼で見てわかりやすい運動障害だけではなく、眼に見えにくい認知特性についても注意を払う必要がある。その認知特性に即した指導方法を導入することで教科内容の理解を促すことができれば、学力のみならず、自尊心や自己評価を高めることも繋がる。運動障害に起因する学習活動の制約が比較的軽微な小学校低学年の時から学習面の支援を行うことは、DMD児の学習意欲に好影響を与えるであろう (小笠原, 1999)。学習障害の合併率の高さ*を考慮すれば、その認知特性に即して個別最適な学びを実現することは、小学校教育における課題の一つといえる。

* Cotton et al. (2005)のメタ分析ではDMD児のうちIQが70未満の者は全体の約3割、Banihani et al. (2015)では、知的障害の合併率は19%、LDが44%、ADHDが32%、自閉スペクトラム障害が15%であった。

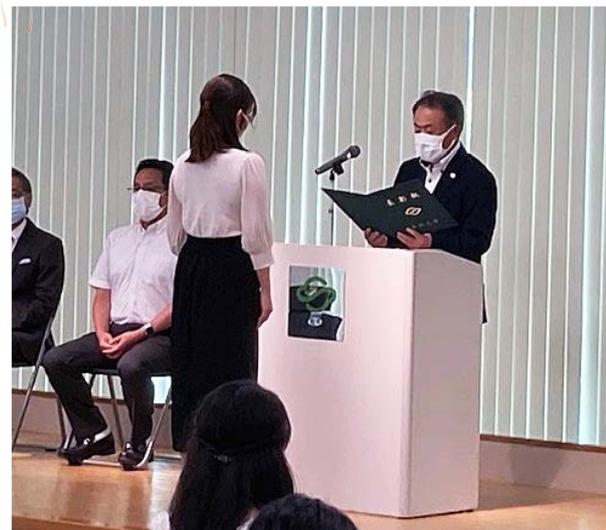
文献

- Banihani, R. et al. (2015) Cognitive and neurobehavioral profile in boys with Duchenne muscular dystrophy. *Journal of Child Neurology*, 30, 1472-1482.
- Cotton, S. M. et al. (2005) Association between intellectual functioning and age in children and young adults with Duchenne muscular dystrophy: Further results from a meta-analysis. *Developmental Medicine & Child Neurology*, 47, 257-265.
- Hinton, V. J. et al. (2001) Selective deficits in verbal working memory associated with a known genetic etiology: The neuropsychological profile of Duchenne muscular dystrophy. *Journal of the International Neuropsychological Society*, 7, 45-54.
- Hinton, V. J. et al. (2004) Investigation of poor academic achievement in children with duchenne muscular dystrophy. *Learning Disabilities Research & Practice*, 19, 146-154.
- Marini, A. et al. (2007) Evaluation of narrative abilities in patients suffering from Duchenne Muscular Dystrophy. *Brain and Language*, 102, 1-12.
- Snow, W. M. et al. (2013) Neuropsychological and neurobehavioral functioning in Duchenne muscular dystrophy: A review. *Neuroscience and Biobehavioral Reviews*, 37, 743-752.
- 鈴木理恵ら (2018) Duchenne型ジストロフィー患者の学校生活に関する保護者へのアンケート調査 脳と発達, 50, 342-349.
- Ueda, Y. et al. (2017) Profile of cognitive function in adults with duchenne muscular dystrophy. *Brain & Development*, 39, 225-230.

おめでとうございます！ 院生の嬉しいニュース



令和3年8月5日(木)、OLIVE SQUARE多目的ホールにおいて、令和3年度香川大学学業優秀者学長表彰式がありました。教職大学院からは、学業成績及び人物ともに特に優れていると認められた大野明子さんと赤澤友利さんの2名に対し、寛善行学長から表彰状と記念品のクリスタルトロフィーが授与されました。



↑ 学長から表彰される赤澤友利さん

← 左から大野明子さん, 野崎武司研究科長, 赤澤友利さん